

弘前城菊と紅葉まつりについて

商工観光部観光物産課

1. 目 的

菊文化の伝承と緑化事業の促進を目的に、子供からお年寄りまで楽しめる演出をする。また、「弘前城植物園」をメイン会場に、休日はコンサート等のイベントを実施し効果的活用を図る。

2. 事 業

- (1) 名 称 弘前城菊と紅葉まつり
- (2) サブタイトル りんごの香りに誘われて (昨年から)
- (3) 期 間 平成22年10月22日(金)～平成22年11月7日(日) 17日間
開会式 10月22日(金)午前9時～(イベントステージ)
- (4) 開催場所 メイン会場 弘前城植物園
特別企画展 全国城郭パネル展「弘前城天守(史料館)」(弘前城本丸)
- (4) 運営組織 弘前城菊と紅葉まつり運営委員会
- (5) 事務局 社団法人弘前観光コンベンション協会
- (6) 協力団体 弘前市公園緑地協会、弘前市物産協会、弘前菊の会、大菊づくり愛好会、弘前りんごの会、岩木山観光協会、弘前工業高校ほか

(7) 会場内容

- ① 菊の誓願寺山門と菊のアーチを北側入口に設置、南側入口には樽を使った飾りつけをする
他、通路には、ポットマムを使った花壇、懸崖菊、千輪仕立てなどを設置、また、菊で飾り付けた船を濠に浮かべて華やかに演出をする。
- ② 菊人形場面のテーマをNHK大河ドラマ「龍馬伝」より再現しながら菊人形の歴史、作り方(できるまで)を紹介するほか、実演コーナーを設ける。
- ③ 湿性植物園周辺には、家族連れに好評の動物の菊のトピアリーや動物ふれあいコーナー、樽を使った遊具を設置、また、生垣見本園前には、チビッコ新幹線を運行し子どもが遊べる空間を創出する。
- ④ 自由広場(中央芝生)には、「菊の五重塔」と「菊の岩木山」を設置し、菊の岩木山は、イベントステージの背景としても活用する。
- ⑤ 市民菊花展など市民が参加できる展示コーナーを設置する。
- ⑥ りんごの装飾として、りんごの鉢植え、りんごのオブジェを設置するほか、樽飾りや看板などにりんごのイラストを入れる。
- ⑦ 弘前工業高校の協力で卒業制作作品の水車小屋を会場内に飾りつける。
- ⑧ 植物園写生大会の作品展示をするとともに、開会式において市長賞の表彰をする。

(8) 弘前城写真コンテスト

昨年に引き続き「弘前城写真コンテスト」の入賞作品の発表と展示をする。

(9) イベント

開会式のアトラクション及び期間中の土・日・祝日には、植物園内ステージを中心に、郷土芸能披露や軽音楽のコンサートなどを開催し、市民の発表の場を演出するほか、期間中スタンプラリーを実施し、記念品として弘前城築城400年祭たか丸くんシールをプレゼントする。また、藤田記念庭園ミニコンサートや緑の相談所で行われる展示会と連携したPRを行う。

(10) 特別企画展

弘前城本丸の弘前城天守(史料館)3階では、全国の城郭パネルを展示する。

(11) 便益施設など

お客様へのサービスの一環として会場内に便益施設（そば、喫茶、自販機）を設けるほか、市内作動4流派の協力により、日、祝日に限定して三の丸庭園に抹茶接待コーナーを設け菊花を安値で販売をする。

(12) 弘前公園紅葉情報の提供と三の丸臨時展望台の設置

市立観光館、観光案内所、まちなか情報センターで弘前公園の紅葉情報コーナーを設け紹介するほか、今年から公園緑地協会のホームページでも紹介する。また、紅葉の見どころ、三の丸に臨時展望台を昨年度に引き続き設置する。

(13) りんご関連

旬のりんごを利用して巨大アップルパイを作るイベントの開催。

(14) ミニキャンペーン

紅葉の弘前城をメインに秋季の観光資源や津軽地域のイベントを包含して宣伝展開するパンフレットを製作、首都圏に設置する。